

エゾシカが増えて 大変なんです。



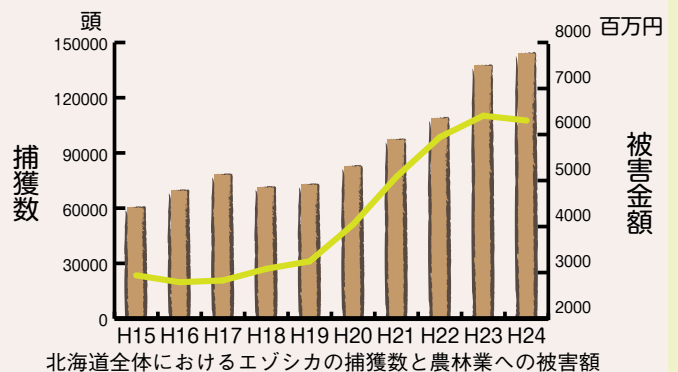
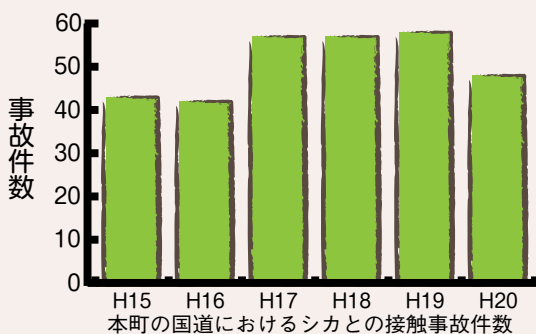
エゾシカは北海道を代表する動物ですが、近年個体数の増加が問題になっています。

エゾシカはなぜ増えたのか
エゾシカは、明治の初めハンターによる乱獲や大雪によって、絶滅寸前になりました。しかし、その後の保護政策やエゾシカを捕食するエゾオオカミの絶滅、ハンターの減少などによりエゾシカの数が増え、平成24年の推定生息数は道内で59万頭生息していると言われています。

エゾシカの増加による影響

エゾシカが増えたことで心配されているのは、畑や農作物への影響です。北海道の鳥獣による農林水産業の被害額は推定70億円と言われ、その内エゾシカによる被害は全体の9割を占めています。本町でもエゾシカによる農林業の被害を受けており、その被害額は約3億円となっています。

また、農林業への被害のほかにも、樹木の皮や貴重な植物を食べてしまったり踏みつけてしまうことで、自然が荒らされてしまい、自然界のバランスが崩れてしまう可能性や道路への飛び出しによる自動車や列車との接触事故など、エゾシカによる多くの問題が発生しています。



これからの運転にご注意を

エゾシカの増加による問題の一つとして、エゾシカとの接触事故があります。

釧路管内はエゾシカとの衝突事故多発地域となっており、本町を通る国道391号線でも接触事故が多く発生しています。また、10月～1月の期間はシカの活動が活発になるため、衝突事故が多く発生しています。では、衝突事故を防ぐためにはどうしたら良いのでしょうか。

エゾシカとの衝突事故を防ぐためにはエゾシカの習性を知り、エゾシカの行動を予測することが重要になります。下記に記載されている「エゾシカ衝突事故防止5原則」を読み、今後の運転に活かしましょう。また、動物出没注意の標識がある場所や、見通し

の悪い急カーブはシカとの衝突事故が発生しやすい場所なので、十分に注意して安全な速度で運転しましょう。

エゾシカを有効活用

エゾシカによる問題を解決するためには、増えすぎたシカを捕獲し、個体数を管理することが重要になります。エゾシカを効率的に捕獲する手段として、給餌でエゾシカをおびき寄せて捕獲するシャープシューティングや猟銃での捕獲が困難な場所ではわなを設置して捕獲が行われています。

また、エゾシカを有害な動物として駆除するだけではなく、貴重な資源として考え、有効活用していくことも大切です。

エゾシカの有効活用の一つ

毎月第4火曜日は「シカの日」です

毎月第4火曜日は、4（シ）+火（カ）＝シカで「シカ」の日です。この日は、エゾシカ肉を多くの方々に食べてもらえるように北海道でPR活動を行っています。エゾシカ肉をおいしくたべることにより、自然環境や暮らしを守ることに貢献が繋がります。シカの日にご家庭で美味しいシカ料理を味わってみたいかがてしょうか。



飛び出し注意の看板を見つけたらスピードダウン



本町で販売されているエゾシカ肉加工品

他にもたくさんシカの魅力

エゾシカの有効活用は食肉

として、捕獲したエゾシカを食用肉としての活用する方法があります。欧米では、狩猟によって捕獲した動物の肉を「ジビエ」と呼び、その中でシカ肉は高級食材として、重宝されています。また、エゾシカ肉は、高タンパクで低脂肪、鉄分が豊富とヘルシーな食材と言われています。

そんな魅力的なエゾシカ肉を多くの方に食べてもらうため、市町村や飲食店などでさまざまな活動が行われています。本町では、捕獲したエゾシカを食用用に加工し販売を行っている店舗やエゾシカ肉をペットフードとして利活用するなどエゾシカの有効活用が行われています。

ただではありません。シカの皮は柔らかく、吸水性が良いため、貴金属や自動車などの汚れ落としとして使用されています。また、角はアクセサリーなどの工芸品に加工されたり、海外ではシカの角を漢方薬の材料として利用されています。

このようにエゾシカはさまざまな有効活用方法があり、それらを使った製品を開発することなどで経済を活性化させたりエゾシカを観光の資源として利用することで地域の活性化に繋がるなど、エゾシカは北海道の経済を支える大きな資源になる可能性を秘めています。今まで有害獣と言われていたエゾシカが、北海道を支える大きな財産になる時が近いかもしれません。

森はシカの通り道

森はエゾシカのテリトリー。通過するときはエゾシカの飛び出しに注意して走行しましょう。



夜に光を見たらブレーキ

エゾシカの目はヘッドライトが反射して光ります。夜間に光るモノを見たら、まず減速を。



エゾシカはマイペース

エゾシカは車が近づいても逃げないことがあります。減速しないと衝突することがあります。



シカの後にシカあり

エゾシカは群れで行動しています。1頭目が渡りきって安心していると、後から2頭3頭と飛び出していきます。



エゾシカ衝突事故防止 5原則

秋冬がピーク日没と夜明けに出没集中!

エゾシカ事故は10月～1月、次いで春先の4月に多く発生しています。時間帯としては16時～20時、4時～6時に出没が集中しています。

情報提供 釧路開発建設部